

令和5年度札幌市埋蔵文化財センター企画展

札幌の大昔の暮らしと食べ物

～動物を狩る～



大昔の札幌には、自然のなかで食料をとって暮らす人々がいました。人々は森や野原で陸の動物を狩り、植物を採り、川や海で魚を捕り、海の動物を狩って日々の食料を得ていました。

札幌の遺跡からは、人々が食料を得るために作った道具、食料となった動物や魚の骨、植物の殻や種がたくさん出土します。

今回の企画展では動物の狩りにスポットをあて、遺跡から出土した狩りに使われた遺物を展示するとともに、狩りの効果をたかめるためになされた工夫や、人々が狩りで得た動物の骨をパネルで紹介します。自然のなかでたくましく生きぬいた大昔の札幌の人々の暮らしの一端をご紹介します。

会場：埋蔵文化財展示室企画展コーナー（札幌市埋蔵文化財センター内）
（札幌市中央区南22条西13丁目）

期間：令和5（2023）年11月10日（金）～令和6（2024）年4月18日（木）

休館日：令和5（2023）年11月23日、12月29日～31日、
令和6（2024）年1月1日～3日、1月8日、2月11日・12日・23日、3月20日
開館時間：午前8時45分～午後5時15分まで

主催：札幌市埋蔵文化財センター
問合せ：011-512-5430



04-D05-23-2049
R5-4-371